



発行：令和3年11月15日（月）

担当：上原美香

「先生、やりたい！」

先月から徐々に発表会に向けての取り組みが始まりました。和太鼓の練習が始まると大きな太鼓を目の前にすると、子ども達の目が輝き「早く叩きたい」という声が聞こえ、楽しそうに練習をしています。そして、他の出し物を決める時は、今まで読んできた絵本の中から劇遊びを決め、これまでのDVDを見せもう1つの出し物を何にするか検討しました。子ども達も今までの出し物を覚えていたようで「先生、龍がいい」という声が上がりました。いざDVDをみると「先生、獅子舞がやりたい」「前のいるか組さん凄い。感動した。」「いるか組さんかっこいい！」など、みんなで盛り上がっていました。

話し合いを重ねた結果、「和太鼓」、劇遊び「十二支のはじまり」、「獅子舞」に決まりました。来月の発表会に向けて練習を重ねていく中、みんなの前で表現することが苦手な子は、その子なりに悩んだり、気持ちの葛藤があったりとちょっと頑張ることができていると思います。子どもはそのハードルを本人なりに乗り越えようと頑張っています。保護者のみなさん温かい目でも守ってください。

「ピザ作り楽しい！」

・きらきら会の取り組みでは、その日の夕食に「ピザが食べたい！」という声があり、夕食のメニューが決まりました。しかし、ピザの材料や作り方がわからない為「お母さん達と一緒に調べてきてね」と伝えると翌日には、「先生、お母さんとピザの作り方調べたよ」材料と作り方が記入したメモを見せてくれました。調べてきてくれた材料や分量に少し違いがあり「どれが当たっているのかな？」と悩み、実際に分量の違うピザを作ってみることにしました。生地を伸ばす為に初めて麺棒を使う子ども達！掌だけでは力が入らず肘の所まで転がしてしる姿を見て、子ども達の一生懸命さが伝わりました。出来上がったピザを食べて「ちょっと硬いね」「ここは柔らかい」と1枚の生地でも硬い所と柔らかい所があることから生地は均等の厚さに

する大切さに気付きました。失敗した経験を活かし、当日はとても美味しいピザができました。



「乗れたよ〜」

・園庭遊びの時、久しぶりに「竹馬に乗りたい」と思ったようで竹馬に乗り遊ぶ姿が見られるようになりました。友達が高い竹馬に挑戦する姿を見て、今まで竹馬に興味を示さなかった子が練習し乗れるようになりました。練習の時、保育教諭に乗り方を教えてと訴えてくるのかと思えば、「小さく歩くんだよ」とか「〇〇さん、大丈夫だよ。乗りたいと思ったら乗れるよ」など子ども達同士で教え合ったり、励ます姿がありました。友達が乗れるようになると自分のことのように「先生、〇〇さん見て乗れたよ」と自分のことのように喜んでいる姿を見て、友達を思いやる気持ちが持てるようになったことが嬉しくなりました。



泥団子！

・砂場で団子を作って遊んでいた子ども達！Aさんが砂場の砂と泥山の土を使い泥団子を作ったことから、他の子も泥団子作りを始めました。作った泥団子をお皿に入れ、その場から離れると泥団子がなくなり何度も作り直していました。作り直しているうちに大切に保管する場所を探し、階段下の倉庫に保管することを思いつき階段下の倉庫に保管することにしました。Aさんはピカピカの泥団子を作りたいと思ったようで、母親にストッキングを用意してもらって持ってきていました。試行錯誤しながらピカピカの泥団子を楽しんでいます。



・肌寒くなりジャンパーやパーカーを着る際、お子さんが楽しく安全に遊ぶことができるように、ファスナーがしまるか、ボタンはちゃんと付いているか確認してください。宜しくお願い致します。